

NO. 416
2025.10・11

CENTER NEWS



目 次

理事就任のご挨拶	前田 直也…………… 1
8・9月定例理事会	…………… 2
大阪市港区海岸通での 地盤調査一斉試験の見学報告	松岡 令子…………… 3
ジオ・ラボネットワーク 2025年度スキルアップ研修会の参加報告	向 稀美郎…………… 4
全地連「技術フォーラム 2025」山形 展示団体ショートプレゼンテーション報告	細川 奏太…………… 5
会社探訪記 (ハイテック株)	…………… 6
全地連「技術フォーラム 2025」山形 参加報告	三好 功季…………… 8
4団体主催 技術講演会のお知らせ 「セメント系固化材の利活用セミナー」	…………… 9
委員の独り言	松元 大樹…………… 11
編集後記	工藤 高弘…………… 12

表紙説明

本号が発行されている頃には、関西万博が無事に、そして盛況に閉幕していると思います。今回の目玉のひとつとして「大屋根リング」が挙げられます。世界最大の木造建築物としてギネス記録に認定されています。

表紙の流れ橋も日本最大級の木造橋です。正式名称は上津屋橋（こうづやばし）で、京都府山城北土木事務所が管理する歩行者専用道路です。時代劇のロケ地としても有名で、以前は2～3日ごとに撮影があったようです。（荒谷 記）





理事就任のご挨拶

中央開発株式会社

前田 直也

皆さま、こんにちは。

このたび、理事を拝命いたしました中央開発株式会社の前田直也です。

私は1993年4月に中央開発に入社し、以来ずっと関西支社（当時は大阪事業部）で地盤調査に携わってまいりました。関西地盤環境研究センターの皆さまには、入社当初から長年にわたりお世話になっており、土質試験の専門的な相談など、数えきれないほどの場面で支えていただきました。この場を借りて、改めて感謝申し上げます。

入社2年目には阪神淡路大震災を経験し、センターとともに慌ただしい日々を過ごしました。若手だった私にとっては大きな試練でしたが、この経験が技術者としての自信につながり、今の自分をつくる大きなきっかけとなりました。

センターは1980年の設立以来、関西における地質調査業界の技術的な支柱として、試験業務や研究活動を通じて地域のインフラ整備に貢献されてきました。大学や研究機関との連携、若手技術者への教育活動など、業界の未来を見据えた取り組みにも力を入れておられ、私自身も多くの刺激を受けてきました。

今回、理事という立場をいただき、身の引き締まる思いです。これまでの現場経験を活かしながら、業界の魅力をもっと多くの人に伝え、若手技術者の育成や技術の継承にも力を入れていきたいと考えています。センターの一員として、これからも皆さまとともに歩み、少しでもお役に立てるよう努めてまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



8月

定例理事会

Regular board of directors

8月定例理事会は持ち回り開催とした。令和7年8月22日(金)に理事9名全員に資料を送付し、令和7年8月25日(月)までに理事全員より意見を回収した。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告
7月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 7月分事業報告の件

【審議事項】

- 1) 組合新規加入申し出の件

9月

定例理事会

Regular board of directors

令和7年9月29日(月)15時00分より、ガーデンシティクラブ大阪会議室(スバルの間)にて理事8名が出席して開催した。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告
8月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 8月分事業報告の件
- 3) 令和7年度三団体合同見学会、四団体合同講演会開催の件
- 4) 第46期臨時総会費用の件
- 5) その他の件

【審議事項】

- 1) 土質試験単価と値引きの件
- 2) 調査収集データの活用 of 件
- 3) 令和8年お年賀、カレンダーの件
- 4) その他の件
(1) 改正育児・介護休業法の要点について

☆ お知らせ ☆

新規加入組合員

令和7年9月1日付で、ニタコンサルタント株式会社が
組合員に加入されました。

大阪市港区海岸通での 地盤調査一斉試験の見学報告

総務経理室 松岡 令子

大阪市港区海岸通の地盤調査一斉試験（令和7年8月18日～9月3日）の現場見学会に八谷専務理事・高野・松岡の3名で行ってまいりました。初めて見る地盤調査にワクワクしました。我々が現地に行った8月26日はYBMが自動ボーリングマシンを用いて標準貫入試験を、JHS・日東精工・東京都市大学がスクリュードライバー（SDS）を実施していました。

自動ボーリングマシンによる採取試験は設置個所付近の地中障害物の影響もあり、予定通りに進んでおりませんでした。

自動ボーリングマシンの詳細について、YBMの奈須様に丁寧な説明をじっくり伺うことが出来ました。初めて見るダイヤモンドビット（ダイヤモンドという言葉に反応しました）に触らせてもらい、とても貴重な体験とすることが出来ました。この一斉試験のお世話をいただいた、顧問 大島昭彦先生に深謝いたし、見学会の報告といたします。



ジオ・ラボネットワーク 2025 年度スキルアップ研修会の参加報告

地盤技術室 向 稀美郎

2025 年 8 月 28 日（木）から 29 日（金）の 2 日間、協同組合土質屋北陸さまで開催されましたスキルアップ研修会に参加してまいりました。

スキルアップ研修会は土質試験の手法等の細部について意見交換をし、理解を深めることを目的としたものです。昨年度初めて開催され、今年で 2 回目になります。今年の議題は物理試験についてでした。

2 日に分けて、それぞれの組合の事前アンケートをもとに意見交換が行われました。1 日目は意見交換だけでなく、試験室の見学をさせていただき、さらに、中部大学の杉井俊夫教授による講義がありました。2 日目は意見交換に加え液性限界・塑性限界試験を複数人で実施し、試験結果の比較を行いました。

今回の研修会に参加して始めた知ったことも多くありました。この得た知識を今後の業務に活かしていきたいと思えます。

協同組合土質屋北陸の皆様ありがとうございました。



森川専務理事のあいさつ



杉井俊夫教授の講義



液性限界・塑性限界試験を幾人かが実施



集合写真

全地連「技術フォーラム 2025」山形 展示団体ショートプレゼンテーション報告

地盤技術室 細川 奏太

2025年9月11日と12日の2日間、全地連「技術フォーラム 2025」山形にて、ジオ・ラボネットワークのブースで沈降分析浮ひょう読み取り自動化システムを展示しました。

私は「展示団体ショートプレゼンテーション」にジオ・ラボネットワークの代表として、協同組合土質屋北陸の江守氏と参加しました。江守氏のジオ・ラボネットワークについてのプレゼン後、交代した私は自動化システムを使った沈降分析の試験方法や、開発に至るまでの過程を紹介しました。

発表内容を考える中で改めて沈降自動化に関する過去の研究を振り返り、自分がまだ参加していなかった頃のことでも知ることができたので、今回のプレゼンは自分の頭の整理をする良い機会になりました。

当日のショートプレゼンテーションでは、こういった発表をするのが初めてだったこともあり、非常に緊張しましたが無事に終えることが出来ました。機会があればまた挑戦したいと思います。



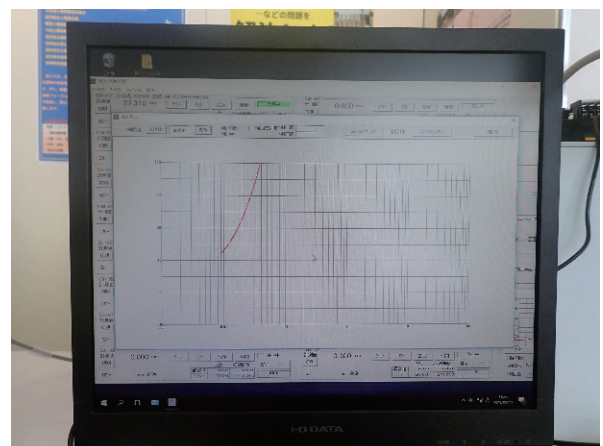
展示会場



プレゼンの様子



展示ブース



展示中の自動化システムの様子

かいしゃたんぼうき

ハイテック 株式会社

会社設立
資本金
主たる業務

平成11年8月

2,760万円

①地質・地盤調査

②水文・環境調査

③インフラ構造物保全調査



Q.1 社内の雰囲気は どんな感じですか？



ハイテック 伊藤さん

A.1

岩田：社内はフリーアドレス式で、周りの先輩方や他部署の方とも話しやすい雰囲気です。

伊藤：上司の方との年の差が自分よりも一回りくらい離れていますが分からないことがあればすぐに相談できる様な話しやすい雰囲気です。

下林山：プライベートなことの話をしていただけたり、聞いたことにフレンドリーに答えていただけるなど日頃働きやすい環境だなと感じています。



〈インタビュー風景〉

Q.2 どのような仕事を 得意とした会社ですか？



センター 高野

A.2

ダム、地すべり、トンネル等山間部におけるボーリング調査をメインとしています。ハイブリッドボーリング（高品質なコア採取）、ドクターモールボーリング（小型軽量ボーリング）などにも特化しています。

調査は日本全国だけでなく、東南アジアを主に海外でも実施しています。

また、地下水位観測、井戸調査、源頭調査などの水文調査、インフラ施設の点検調査も行っています。

Q.3

社員のかたはどのような 方が多いですか？



ハイテック 下林山さん

A.3

岩田：日本人の社員だけでなく、中国人、ベトナム人、インドネシア人と外国人社員が多数在籍しています。国籍や年齢に関係なく、気軽に話やすく気さくな方が多いです。

伊藤：関西出身の人が多いため冗談を言う人が多いです。普段の会話でも冗談交じりに喋ってくださるのはとてもありがたいと思っています。

下林山：上司の方が自分の親と年が近いくらいなので、息子の様に接してくださるのですごく楽しい環境で仕事しています。



Q.4 仕事上の失敗談はありますか？

A.4 崖錐堆積物の礫が硬質であったり、破碎部が軟質であったりとボーリングコアが上手く採取できず、掘り直したことがあります。

Q.5 その失敗をどのように次にいかせていますか？

A.5 事前に既存資料を収集しどのような地質か情報を収集し、上手くいった事例を他の機長と共有することで次に活かしています。

Q.6 組合員からみたセンターってどんな印象でしょうか？



ハイテック 岩田さん

A.6 室内試験のことで不明点があった際に親身になって回答して下さり助かっています。また、社員が多く和気藹々と作業をしている印象です。

Q.7 御社に入ってよかったと思えることはありますか？



センター 仲西

A.7 岩田：ボーリング調査は全国で調査しているため、色々な現場を経験でき良かったです。
社員のボーリング班が15班程度在籍しており、相談しやすいです。

伊藤：山の上の方の河川の水を測りましようとなったときにけもの道だったり、誰も歩いてないような場所を歩くので入社当初に比べて体力がついたと思います。
現場では自分に決定権が多いので、自分で仕事の段取りを自分で考えないといけません。どのタイミングで現場に入り、どう回していくかを判断する力が身についたと感じています。

下林山：決められたルールや手順は守らなければなりませんが、それ以外の部分では、自分がやりたいようにやらせてもらっています。現場の方々に質問しても丁寧に教えてくださる事ばかりで、とてもありがたいです。

Q.8 センターのここがいいな～はありませんか？

A.8 繁忙期や工期が短いときでもしっかり対応して頂きありがたいです。
土質試験の見学会や勉強会等も毎年開催して頂きとても勉強になっています。



代表取締役
小宮 国盛

社長の一言

弊社は日本全国、さらには海外においてボーリング調査をはじめとする地盤調査を通じて地域社会への貢献に努めております。

自社開発を含む各種ボーリングや多様なニーズへ対応できる技術開発にも力を注いでいます。

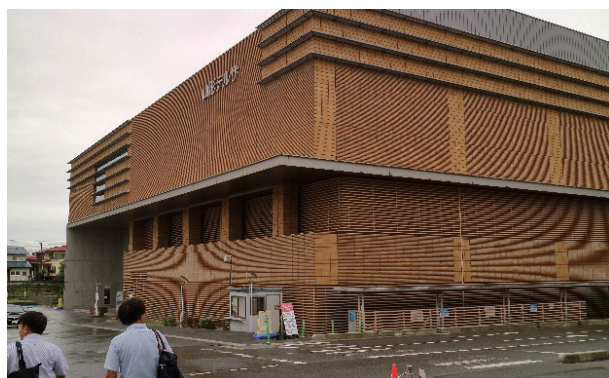
今後も技術力のさらなる向上、新たな挑戦を続けてまいります。

全地連「技術フォーラム 2025」山形 参加報告

地盤技術室 三好 功季

2025年9月11日、12日に全地連「技術フォーラム 2025」が山形テルサで開催されました。今回は「沈降分析浮ひょう読取り自動化システムの開発」を発表しました。皆様ご存じの通り、私たちは約8年前より粒度試験の沈降分析を自動化しよう!!と研究に取り組んでまいりました。昨年度には、中小企業団体中央会の補助金を活用し、ついに『レーザー測器を用いた沈降分析浮ひょう読取り自動化システム』（通称：沈降くん）を開発することができました。今回の発表では、自動化システムの概要や従来の計測方法（JIS法）との比較試験結果を紹介しました。その結果、両者の粒径加積曲線は実用上無視できる程度であり、実務に用いても問題ないということを報告しました。さらに今年は初めて展示ブースで沈降くんの実演を行い、ご来場いただいた多くの方々にご紹介することができました。現在は対象土を拡張し検証を継続しており、今年度中の実用化を目指して開発を進めております。実用化に向けては、当センターのみならず皆様のお力添えが不可欠です。ご協力やご意見をいただける方は、是非お声がけいただけますと幸いです。

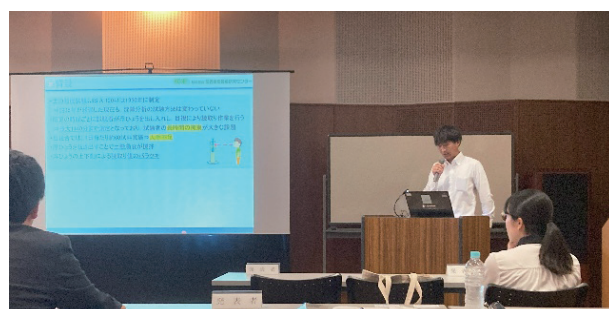
最後になりますが、私たちは未来の土質試験に向け、沈降分析に限らず、さらなる効率化・自動化を進めていく必要があると考えております。10年後を見据え、私たち土質試験技術者同士が手を携え、意見交換や交流をより一層深め、ジオ・ラボネットワークを強化していきたいと思っております。



発表会場



展示ブース



発表の様子（三好職員）



懇親会の様子

セメント系固化材の利活用セミナー

— 防災・減災、国土強靱化に資するセメント系固化材 —

主催：協同組合 関西地盤環境研究センター
 一般社団法人 関西地質調査業協会
 一般社団法人 日本応用地質学会関西支部
 一般社団法人 セメント協会
 協賛：公益社団法人 地盤工学会関西支部
 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会近畿支部
 後援：国土交通省近畿地方整備局

上記4団体主催による「セメント系固化材の利活用セミナー」—防災・減災、国土強靱化に資するセメント系固化材—と題しまして、地盤調査にかかわる様々な話題を中心に、技術講演会を開催させていただきます。

セメント系固化材の基礎知識のほか、近年の豪雨災害の多発・激甚化を鑑み、河川から海岸にわたる水辺におけるセメント系固化材の適用事例や、能登半島地震でのセメント系地盤改良工法の耐震効果について紹介いたします。

ご多忙の中、皆さまに奮ってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

記

1. 日 時：2025 年 11 月 6 日（木）13：15～16：45 /（12：45～開場、受付）
2. 場 所：大阪公立大学文化交流センター ホール（※会場と web によるハイブリット方式）
530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階

※参加費は無料

3. 定 員：会場参加；120 名（申し込み順。定員になり次第、締め切らせていただきます）
Web 参加；100 名

4. プログラム

開会の挨拶（協）関西地盤環境研究センター 理事長 窪田博之		13：15～13：20（5分）
1. セメント系固化材の概要	（一社）セメント協会 セメント系固化材技術専門委員会 委員長 宮脇 賢司 氏	13：20～14：20（60分）
＜ 休 憩 ＞		
2. セメント系固化材の適用事例 —水辺での活用事例と能登半島地震での地盤改良の効果—	（一社）セメント協会 セメント系固化材普及専門委員会 委員 重田 輝年 氏	14：30～15：30（60分）
＜ 休 憩 ＞		
3. 建築物の地盤改良 —能登半島地震での液状化対策の効果—	大阪公立大学 都市科学・防災研究センター 特任教授 大島 昭彦 氏	15：40～16：40（60分）
閉会の挨拶（一社）関西地質調査業協会 技術委員長 岩瀬信行		16：40～16：45（5分）

各講演、質疑5分を含んでおります

5. 申込方法：下記 URL から「参加者各自で」お申し込みください。

※参加申込み URL 内にて、「会場参加」「web 参加」を選択してください。

参加申込 URL

<https://forms.gle/ZMi8eYqUeHpvopH9A>

6. 申込期限：令和 7 年 10 月 31 日（金）

7. CPD：3.0H

※ CPD 受講証明書の発行について

「会場参加」の方は、当日、会場にてお渡しいたします。

「Web 参加」の方は、各講演後に発表される「キーワード」、「100 文字以上の気づき・感想」を記入のうえ、送信をお願いいたします。記載内容の確認後、事務局より CPD 受講証明書を後日、メールにて送付いたします。

8. 問い合わせ先

協同組合 関西地盤環境研究センター

広報小委員会 事務局

goudoukouen2025@ks-dositu.or.jp まで

※直接、会場へのお問い合わせは、ご遠慮ください。

お問い合わせは、上記アドレスまで、よろしくお願い申し上げます。

会場案内図

地図



【JR大阪駅から】

中央改札口から右手（大丸側）にすすみ、地下街をほぼまっすぐ北新地駅方面へ、徒歩約7分で、北新地駅手前、左手に大阪駅前第2ビルの地下2階フロア入口に到着します。

【JR東西線北新地駅から】

北新地駅下車、東口改札口から大阪駅前第2ビル地下2階フロアにすぐ入れます。

【地下鉄西梅田駅から】

大阪駅前第1ビル方面改札口から第1ビルを通り抜けて徒歩5分で大阪駅前第2ビルに到着します。

【地下鉄東梅田駅から】

南改札口を出て、大阪駅前第4ビルに入り、大阪駅前第3ビルを通り、大阪駅前第2ビルへ徒歩7分

委員の独り言

今年の記録的な猛暑日ずくめから少し落ち着き、真夏の熱気が残りつつも朝には少し肌寒い季節となってきました。そんな中「なにを呟こうかな」と少し頭を悩ませながら、原稿と向かいあっているところですが、あまり悩みすぎても仕方がないので、私の好きなものについて書いていきたいと思います。

私は生まれも育ちも大阪で小さい頃から野球をプレイするのも観るのも好きであり、大の虎ファンです。今年の虎球団は圧倒的な強さで、2リーグ制以降、最速優勝を果たしました。その要因は多々ありますが、メディアや関係者間では以下のようなことが挙げられています。

「打撃力と投手力のバランス」、「監督采配」、「チームの一体感、スローガンの浸透」、「近年のドラフト戦略」等々

総じて私はチームのマネジメント力が素晴らしかったのではないかと考えています。組織におけるマネジメントは目標を達するために、効率よく動かし、成果を出すためには大変重要な役割となります。どれだけ素晴らしい「個」が揃っていても、最大限のパフォーマンスを発揮するには最適なバランスを維持できないと宝の持ち腐れになってしまいます。

我々の職種でも同様であり、「経済性」、「人的資源」、「情報」、「安全」、「社会環境」のバランスを保ちながらマネジメントしていく必要があると改めて考えさせられた次第です。

(松元 大樹 記)



編集後記

★9月に新たな組合員様が加入され、組合員 55 社、賛助会員 7 社となりました。
更なる組合員の増加を目指し、広報小委員会や他委員会の皆様と協力しセンター発展に尽力してまいります。

★地盤調査一斉試験の見学やジオ・ラボネットワークスキルアップ研修会への参加、技術フォーラム 2025 山形への参加や発表など、センター活動も積極的に取り組んでいます。
引き続き継続し、センターの活動範囲を広げていければと思います。

★当センター組合員様の「会社探訪記」は当号にも掲載でき、順調に進んでいます。各会社で様々な特徴があり、次号も楽しみにしていただければと思います。

★今年は秋が短く、すぐに冬になるといわれています。また、今年の冬は例年より気温が低くなるとの予報です。つい最近まで熱中症対策等暑さ対策を考えていたのに今度は雪等の凍結対策に追われる日々になりそうです。

(工藤 高弘 記)



組合員・賛助会員名簿

【組合員名簿】

(50 音順)

会 社 名	電話番号	会 社 名	電話番号
株式会社 アサノ大成基礎エンジニアリング 関西支社	(06)6456-1531	株式会社 タニガキ建工	(073)489-6200
株式会社 アテック吉村	(072)422-7032	株式会社 地域地盤環境研究所	(06)6943-9705
株式会社 池田地質	(06)6797-2280	株式会社 地圏総合コンサルタント 四国支店	(0897)33-3123
株式会社 勇コンサルタンツ	(06)6306-6907	中央開発 株式会社 関西支社	(06)6386-3691
株式会社 インテコ	(0742)30-5655	中央復建コンサルタンツ 株式会社	(06)6160-1121
株式会社 エイト日本技術開発 関西支社	(06)6397-3888	株式会社 東京ソイルリサーチ 関西支店	(06)6384-5321
株式会社 エス・ビー・シー	(0883)52-1621	株式会社 東建ジオテック 大阪支店	(072)265-2651
株式会社 エムアールソイル	(06)6195-6712	東邦地水 株式会社 大阪支社	(06)6353-7900
株式会社 オキコ コーポレーション	(06)6881-1788	土質コンサル 株式会社 大阪事務所	(072)634-6373
応用地質 株式会社 関西事務所	(06)6885-6357	株式会社 中堀ソイルコーナー	(06)6384-9069
川崎地質 株式会社 西日本支社	(06)7175-7700	ニタコンサルタント 株式会社	(088)665-5550
株式会社 関西土木技術センター	(075)641-3015	株式会社 日さく 大阪支店	(06)6318-0360
株式会社 基礎建設コンサルタント	(088)642-5330	株式会社 日建設計	(06)6203-2361
基礎地盤コンサルタンツ 株式会社 関西支社	(06)4861-7000	株式会社 日本インシーク	(06)6282-0310
キタイ設計 株式会社	(0748)46-2336	日本基礎技術 株式会社 関西支店	(06)6351-0562
株式会社 キンキ地質センター	(075)611-5281	日本物理探査 株式会社 関西支店	(06)6777-3517
株式会社 KGS	(072)279-6770	ハイテック 株式会社	(06)6396-7571
株式会社 建設技術研究所 大阪本社	(06)6206-5700	株式会社 阪神コンサルタンツ	(0742)36-0211
興亜開発 株式会社 関西支店	(072)250-3451	阪神測建 株式会社	(078)360-8481
国際航業 株式会社 関西事業所	(06)7175-8733	ビューエンジニアリング 株式会社	(088)665-7360
株式会社 国土地建	(0748)63-0680	株式会社 復建技術コンサルタント 関西支店	(06)6266-2244
サンコーコンサルタント 株式会社 大阪支店	(06)6121-5011	復建調査設計 株式会社 大阪支社	(06)6392-7200
有限会社 ジオ・ロジック	(072)453-1000	双葉建設 株式会社	(0748)86-2616
株式会社 白浜試錐	(0739)42-4728	報国エンジニアリング 株式会社	(06)6336-0228
一般財団法人 GRI財団	(06)6941-8800	株式会社 メーサイ	(06)6190-3371
株式会社 ソイルシステム	(06)6976-7788	明治コンサルタント 株式会社 大阪支店	(06)7178-1659
株式会社 大同ソイル	(0745)63-1850	株式会社 ヨコタテック	(06)6877-2666
大日本ダイヤコンサルタント 株式会社 江坂オフィス	(06)6339-9141		

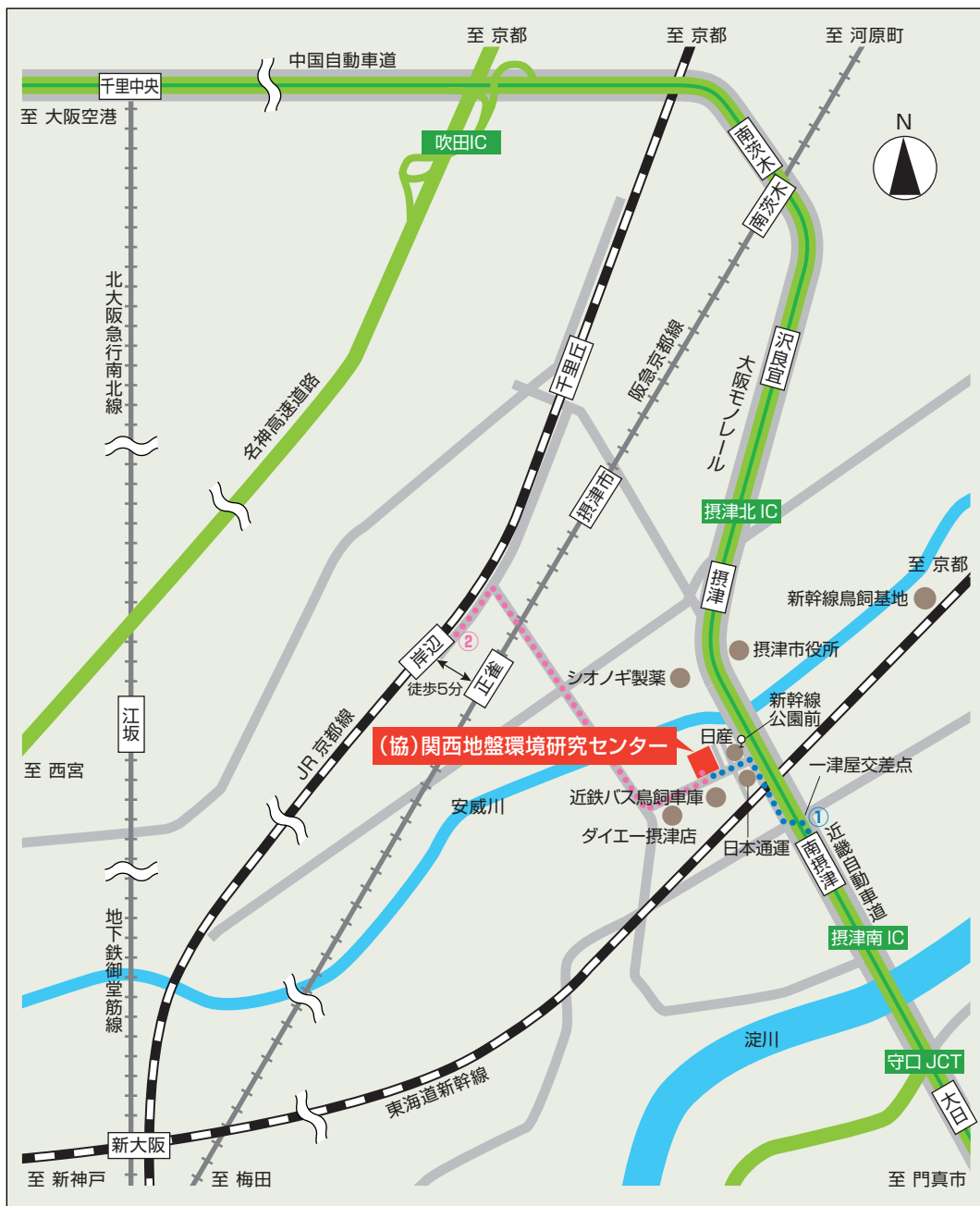
【賛助会員名簿】

会 社 名	電話番号	会 社 名	電話番号
株式会社 アーステック東洋	(075)575-2233	株式会社 ソルブレイン	(06)6981-3330
株式会社 JFDエンジニアリング	(06)6690-8353	株式会社 兵庫コンサルタント	(0799)28-1074
株式会社 創研技術	(088)652-0077	有限会社 ビュアソイル	(072)440-5137
株式会社 総合技術コンサルタント	(075)312-0653		

発 行 協同組合 関西地盤環境研究センター
 〒566-0042 摂津市東別府1丁目3番3号
 TEL 06-6827-8833 (代)
 FAX 06-6829-2256
 e-mail info@ks-dositu.or.jp

編 集 広報小委員会
 編集責任者 八谷 誠
 印 刷 千里丘印刷

<https://ks-dositu.or.jp>



① 南摂津駅(大阪モノレール)より徒歩12分

② JR岸辺駅よりタクシーで約10分

新大阪駅より地下鉄御堂筋線に乗り千里中央駅でモノレールに接続、千里中央駅から南摂津駅まで21分

協同組合 関西地盤環境研究センター

〒566-0042 大阪府摂津市東別府1丁目3-3

TEL.06-6827-8833(代表)

FAX.06-6829-2256(地盤技術室)

<https://ks-dositu.or.jp>

